

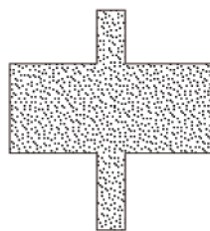
中景: Act III

2022.6.24 fri – 7.23 sat

LEESAYA, Tokyo

TEZUKAYAMA GALLERY, Osaka

<https://www.thegloryofphenomenon.com>



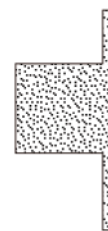
中景: Act III

2022.6.24 fri – 7.23 sat

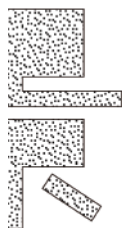
LEESAYA, Tokyo

TEZUKAYAMA GALLERY, Osaka

<https://www.thegloryofphenomenon.com>



った。」「岩は木のことを知らなかった。」「岩は木のことを知らな

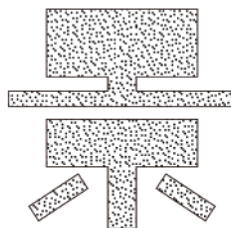


山下耕平 YAMASHITA Kohei

須賀悠介 SUGA Yusuke

二藤建人 NITO Kento

川田知志 KAWATA Satoshi

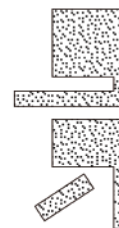


山下耕平 YAMASHITA Kohei

須賀悠介 SUGA Yusuke

二藤建人 NITO Kento

川田知志 KAWATA Satoshi



TEZUKAYAMA GALLERYでは2022年6月24日(金)から7月23日(土)までの会期にて、アーティストの山下耕平のキュレーションによる展覧会『中景: Act III「岩は木のことを知らなかった。」』を開催いたします。

2015年のAct I(会場: TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪)、2016年のAct II(会場: HOTEL ANTEROOM KYOTO, 京都)に続く、同シリーズの第3回目となる企画展であり、初の東京(会場: LEESAYA)と大阪(会場: TEZUKAYAMA GALLERY)の2都市での同時開催となります。

今展では、コンセプトやメディアも異なる4名のアーティストが遠景と近景のあいだ、「中景(ちゅうけい)」という極めて曖昧で不明瞭な概念を起点としながら、物理的な距離感覚というテーマに留まらず、時間や身体的な距離など、各々の解釈で作品に転換し、1つの展覧会を作り上げる試みです。

最終日の7月23日(土)には両会場をオンラインで繋ぎ、アーティスト・トークの開催も予定しております。是非とも両会場合わせて、ご高覧賜りますよう、お願いいたします。

中景: Act III「岩は木のことを知らなかった。」 展覧会ステイトメント

「中景」とは何か。この問いを契機とした展覧会も“Act II”から6年が過ぎようとしている。少し間を置いた(だが自分にとっては唐突に)2022年夏、この問題について再考する。

大阪と東京、距離を隔てた2つのギャラリーで同時開催する今展は大阪では二藤建人と川田知志による、東京では山下耕平と須賀悠介の組み合わせで行う。ただし、二人展ではなく、あくまで4人による展覧会であることに注目してほしい。

昨年秋、本展に向け準備をするにあたり、まずは参加メンバーの共有体験として、愛知県新城市にある乳岩峽を周遊することにした。遊歩道脇の沢筋には巨岩が点々と転がり、上部には大きな木がその岩を掴むように根を張っていた。副題にある「岩は木のことを知らなかった。」とは、その様子を見た際に川田が発した言葉である。

ここで岩と木の関係を考えてみる。岩と木の間に土を見て取ることはできない。まさに岩と木が接続している状況であるわけだが、「中景」がないということではなく、むしろそのあいだの距離や空間、時間についての想像が掻き立てられる一場面であった。またこの言葉は、この展覧会の構造そのものを表しているとも言える。接触しているような、曖昧なような、だが確かに繋がっている。距離を持ちながらも一つの展覧会であろうとする姿勢そのものではないだろうか。

このシリーズは、これまで身体性を手掛かりとして作家を選出、構成してきた。山下は、登山という身体経験による距離感覚の測り直して現れる現在位置を、コラージュを中心とした様々な手法で表現する。須賀は、触覚と視覚のあいだ、破壊と創造のあいだを行き来し、彫刻的表現を中心とした発表を行う。二藤は、愛や重力など不可視の力学を、パフォーマンスを多分に孕んだ立体作品として可視化する。そして、今展から参加する川田は、フレスコ画という古典技法を引用し、場所(その多くは巨大な壁面)と向き合う中で、絵画空間と身体との無意識の調整を取り計らう。

新型コロナウイルスの感染拡大は、人と人との距離を隔て、移動や対面でのコミュニケーションが大きく制限される中、様々なレベルにおいて、距離に対する認識や感覚が大きく揺さぶられている。この展覧会を通じて、「中景」あるいはあいだの感覚に少しでも触れる機会となることを期待したい。

2022年5月
山下耕平

山下 耕平 | YAMASHITA Kohei

1983年、茨城県生まれ。京都府在住。

2010年、京都市立芸術大学大学院美術研究科造形構想専攻を修了。

登山という行為を通して得た経験や記憶、素材、またはアウトドアカルチャーからの引用を交えながら、作品を制作している。遠近や現在位置といった距離感をテーマに、コラージュ的な手法を軸とした絵画、彫刻、写真、インスタレーションなど媒体にとらわれない様々な作品を発表している。

主な出展歴に、「たつのアートシーン2021」みの劇場（兵庫 / 2021）, 「山怪~異世界への憧れと畏れ」瑞雲庵（京都 / 2021）, 「Remember Something」MEDIA SHOP gallery2（京都 / 2019）, 「継ぎ接ぎ」TEZUKAYAMA GALLERY（大阪 / 2019）, 「WOODS」TEZUKAYAMA GALLERY（大阪 / 2017）, 「中景 -The Glory (of phenomenon): Act II-」HOTEL ANTEROOM KYOTO（京都 / 2016）など。



(左→右) Installation View '山怪~異世界への憧れと畏れ' (2021) / 静かに激しく続いていく (2021) / Cairn (2010, 2016)
photo: TAKANO Tomomi

須賀 悠介 | SUGA Yusuke

1984年、東京都に生まれ。東京都在住。

2010年、東京藝術大学美術研究科彫刻専攻を修了。

SFや科学哲学などを参照し、立体作品をベースに、日用品を用いたオブジェや3DCGの映像作品など、様々な素材からなる新奇な作品を制作している。近年は国内外の展覧会にも多数参加し、意欲的に発表を続けている。

主な出展歴に、「瞳孔がひらいている」LEESAYA（東京 / 2022）, 「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.06/物語る物質」高松市美術館（香川 / 2017）, 「Ghost Roaming」LAGE EGAL RAUM FÜR AKTUELLE KUNST（ベルリン / 2016）, 「Duality of Existence」FriedmanBenda（ニューヨーク / 2014）など。



(左→右) Unnameable Time - 名付けえぬ時間 (2022) / National Anthem (2021)

二藤 建人 | NITO Kento

1986年、埼玉県に生まれ。埼玉県在住。

武蔵野美術大学造形学部彫刻学科を卒業した後、2012年に東京藝術大学大学院彫刻専攻を修了。

彫刻作品を起点としながら写真や映像、インスタレーションなど幅広い表現方法で作品制作に取り組んでいる。また、近年では舞台美術のディレクションや、自らもパフォーマンス公演に参加するなど、彫刻と身体表現の関係性を積極的に模索している。

主な出展歴に、「私と世界を隔つもの」LEESAYA (東京 / 2021), 「NEW VISION SAITAMA 5 迫り出す身体」埼玉県立近代美術館 (埼玉 / 2016), 「あいちトリエンナーレ2016」東岡崎駅ビル3F (愛知 / 2016) など。



(左→右) 誰かの重さを踏みしめる(2016) / 反転の山 (2013) photo: MUTO Shigeo, ©Tokyo Wonder Site

川田 知志 | KAWATA Satoshi

1987年、大阪府生まれ。京都府在住。

2013年、京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画)を修了。

大学でフレスコ画を学んだのち、銭湯や市役所などの様々な公共空間で制作、発表。都市近郊の均質化した景色をモチーフにしながら現代社会を記憶する壁画を目指し、活動している。

主な出展歴に、「彼方からの手紙」ARTCOURTGALLERY (大阪 / 2022), 「Slow Culture」ギャラリー@KCUA (京都 / 2021), 「SUBJECT/OBJECT」ANTEROOM Gallery 9.5 (京都 / 2020), 「セレブレーションー日本ポーランド現代美術展ー」(京都, ポズナン, シュチェチン / 2019), 「街と、その不確かな壁と…」あまらぶアートラボ (兵庫 / 2019), 「拆(倒)」A4 ART MUSEUM (中国 / 2018)など。



(左→右) 未来の一点 (2021) / 夏の○×△ (2015) photo: MATSUMI Takuya, ©京都芸術センター

展覧会概要 | Exhibition Information

中景: Act III 「岩は木のことを知らなかった。」

2022.6.24 Fri - 7.23 Sat

[出展アーティスト]

山下 耕平 | YAMASHITA Kohei, 須賀 悠介 | SUGA Yusuke
二藤 建人 | NITO Kento, 川田 知志 | KAWATA Satoshi

[詳細]

第一会場: TEZUKAYAMA GALLERY - VIEWING ROOM (〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F)

展示アーティスト: 二藤建人 / 川田知志

OPEN: 火曜 - 土曜 | 12:00 - 19:00

CLOSED: 日曜・月曜・祝日

第二会場: LEESAYA (〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-14-2)

展示アーティスト: 山下耕平 / 須賀悠介

OPEN: 水曜 - 土曜 | 12:00 - 19:00 / 日曜 | 12:00 - 17:00

CLOSED: 月曜・火曜・祝日

[アーティスト・トーク]

2022年7月23日(土) 17:00 -

*二会場をオンラインで繋いだトークイベント。(参加無料)

[協力]

ARTCOURT Gallery | 神戸アートビレッジセンター

[展覧会サイト]

<https://www.thegloryofphenomenon.com>

[これまでの中景展]



(左) The Glory (of phenomenon): Act I at TEZUKAYAMA GALLERY, Osaka
(中央/右) 中景 -The Glory (of phenomenon): Act II- at HOTEL ANTEROOM KYOTO | GALLERY9.5, Kyoto
photo: TAKANO Tomomi

お問い合わせ | Contact

[第一会場]

TEZUKAYAMA GALLERY - VIEWING ROOM
(〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27 山崎ビル2F)

[第二会場]

LEESAYA
(〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-14-2)

[お問合せ]

Mail | info@tezukayama-g.com (担当: 岡田)
Tel: 06-6534-3993

[お問合せ]

Mail | Info@leesaya.jp (担当: 李)
Tel: 03-6881-4389

[webサイト]

<https://tezukayama-g.com/>

[webサイト]

<https://leesaya.jp/>